

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村健司
全体計画	平成21年度 ~ 平成30年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3258		
事務事業名	4134 広域ごみ処理推進事業										
所 属	140200 環境部・エコパーク推進課										
施 策	03011200 循環型社会の形成										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	事業	100000 広域ごみ処理推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
衛生的な市民生活を維持するため、長野広域連合によるごみ処理広域化基本計画を推進し、確実に安定的なごみ処理を実現						長野広域連合として可燃ごみの広域化処理を行う。計画するごみ処理施設は、焼却施設2施設。最終処分場1施設。須坂市では最終処分場の整備を目指し、候補地の地元との協議を進める。ごみ処理を広域的に行うことにより、ダイオキシン類の発生抑制、処理の効率化及びコストの削減が図られる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
A焼却施設は地元と基本同意に至り、建設に関する協定を締結。B焼却施設と最終処分場は、現地調査を実施。須坂市は最終処分場候補地の地元住民に、説明会、先進地視察への参加を呼び掛け、理解促進を図った。	A焼却施設は地権者説明会を開始。B焼却施設は環境影響評価の現地調査結果を報告。最終処分場は生活環境影響評価と地質調査の結果を報告。溶融飛灰を埋立てないことを決定。須坂市は地元住民に先進地視察への参加を呼び掛け理解促進を図った。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
A焼却施設は業者選定。B焼却施設はアセスの準備書を説明。最終処分場は基本計画を説明。須坂市は地元振興の素案について説明し、最終処分場建設の受け入れについて判断を依頼した。	A焼却施設は整備工事開始。B焼却施設と最終処分場は地元区の施設受入判断後に地権者への説明を開始。須坂市は地元振興事業について協議を進める。

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	ごみ処理施設の整備は、地元住民との度重なる協議の結果であり、成果は整備できたか出来なかったのみ。年度ごとの達成状況は事業の性格になじまない。				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		25,350	72,552
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	760	1,842
一般財源		24,590	70,710
人員数 (人)	正規職員	1.8	1.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1.2	1.2
人員 コスト	正規職員	12,344.4	12,344.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,412.4	1,412.4
	計	13,756.8	13,756.8
市民一人当たりの経費		0.7	1.6
総額		39,106.8	86,308.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	52	講師謝礼、先進地視察手土産
11節 需用費	259	事務用品、コピー代、車両燃料費
13節 委託費	148	デジタルパス作成業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	24,584	長野広域連合環境推進費負担金
その他	307	先進地視察旅費、車両リース料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	266	講師謝礼、先進地視察手土産
11節 需用費	473	事務用品、コピー代、車両燃料費、先進地視察参加者用お茶代
13節 委託費	644	先進地視察業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	70,659	長野広域連合環境推進費負担金
その他	510	先進地視察旅費、車両リース料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	長野広域連合の一員として、広域ごみ処理事業を推進	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	衛生的で快適な市民生活を維持するために、安定的なごみ処理は欠かせず、老朽化している施設の更新は大変有効な事業	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	単独で施設を更新するよりも、広域の枠組みの中で施設を更新した方が、技術的にもコスト的にも効率性が向上	

振り返り（決算年度の取組み課題）

これまでの現地調査の結果をもとに、施設の基本計画を地元で説明し、正式に施設の受入れを申し入れるなど、着実に事業を進めている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>これまで丁寧な説明を繰り返すことで事業を推進してきた。引き続き、地元の皆様が施設を受け入れて良かったと思っていただけるような丁寧な対応が重要になる</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>昨年12月、施設の基本計画等を仁礼区に示して、施設の受入れについて正式に依頼し、本年5月、区から施設受入れに関する絶対的8条件の提示があった。今後も誠意を尽くして協議を進め、地元同意、地権者同意を達成したい。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
外部評価コメント	
<p>最終処分場の設置は、子どもたちの世代のみならず、将来の世代が維持管理の責務を担っていくのもである。受け入れてくれる地域の方々に感謝するとともに、須坂市民全体として、環境保全やごみへの意識を再確認していく必要がある。</p>	